

会 議 録 (1)

会議の名称	令和元年度 第2回飯能市立博物館協議会
開催日時	令和元年11月21日 午前10時00分から12時00分
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	加藤栄子
出席委員	伊藤誠 岩崎隆 加藤栄子 栗原慶子 小槻成克 野村正弘 杉田和美 馬場憲一 平良宣子
欠席委員	井上淳治
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	博物館長 尾崎泰弘 主査 引間隆文 主任 長谷川裕子 主事 金澤花陽乃

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

議事

- (1) 令和元年度主要な事業報告・予定について
・資料1、参考資料に基づいて説明した。
- (2) 令和2年度主要な事業計画(案)について
・資料2に基づいて説明した。
- (3) その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午前10時00分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、井上委員からご欠席の連絡をいただいておりますが、飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和元年度第2回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p>
主査	<p>2 あいさつ</p> <p>それでは開会に際しまして会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>みなさまこんにちは。本日はお忙しい所お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>以前、ある展示を見て資料が人に与える影響の大きさと大切さを感じました。そのような資料が台風19号や首里城の火事で大きな被害を受けたと聞き落ち込んでいましたが、先日友達からこの館で現在開催中の特別展がとても良かったという連絡を受けて気分が持ち直してきているところです。本日もどうぞよろしくをお願いいたします。</p>
主査	<p>続きまして館長からご挨拶申し上げます。</p>
館長	<p>みなさまこんにちは。本日はお忙しいところご出席くださりありがとうございます。今回は今年度の事業報告と来年度の予定説明、そして終了後に特別展「飯能の名宝」の解説をいたします。</p>
主査	<p>ありがとうございました。本日は傍聴希望者がおりませんでしたので、これより議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第15条第1項の規定により、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>それではしばらくの間、議事の進行を務めさせていただきます。</p> <p>では早速ですが、議事の「(1) 令和元年度主要な事業報告・予定について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>

館長	<p>(1) 令和元年度主要な事業報告・予定について それでは議題「(1) 令和元年度年度主要な事業報告・予定について説明いたします。</p> <p>(資料1および参考資料に基づいて説明)</p> <p>社会科研究展は、今年は学習研修室を中学生の部の会場として博物館内のみで開催しました。本展については学校の先生方から賞の付与基準が厳しすぎるとの声があがっており、この点について後ほど委員の皆さまからご意見を頂戴したいと考えております。</p> <p>現在開催中の特別展「飯能の名宝」は現時点での1日あたり入館者数が180人を超えており、昨年の「吾野」を上回っています。</p> <p>夏休み子ども歴史教室については担当から報告いたします。</p> <p>(主事より夏休み子ども歴史教室について報告)</p> <p>施設に関して報告が一件あります。今年の夏に学習研修室および図書室の空調が故障したため、エアコンの取替え工事を実施し、新たなものに付け替えました。</p> <p>最後に台風19号に関わる報告です。当館では台風19号による大きな被害はありませんでした。なお、当日は午前10時30分をもちまして臨時休館といたしました。</p>
議長	<p>報告事項について、何かご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。なお、社会科研究展に関する議論は最後に行いますので、それ以外でお願いいたします。</p>
委員	<p>夏休み子ども歴史教室の参加者の年齢層はどのようなものでしたか。</p>
主事	<p>参加者15名のうち小学3年生が4名、4年生が3名、残りの8名が5、6年生でした。例年だと3、4年生が最も多く高学年の子はほとんど参加しないため、今回のように半分以上が高学年というのは珍しいといえます。</p>
委員	<p>試みとしては非常に良いので今後も改善しながら続けて欲しいと思いますが、子どもの年齢の幅によって扱える内容は大きく違ってきます。くずし字をやるのであれば、中学生は対象にしないのですか。</p>
館長	<p>子ども歴史教室は小学生を対象とすることが多く、これまで中学生を対象としたことはあまりありません。当館の事業全体を見ても、中学生を対象としたイベントはほとんど行っていないのが現状です。</p>
委員	<p>先ほど課題で歴史への興味に繋がれなかった、という点が挙げられていましたが、中学生であればもう少し歴史に興味を持てるのではないかと思います。</p>

委員	くずし字は普段目にする事が無いので、そういう機会があるのは嬉しいです。魚釣りゲームなどのアイデアも良いと思います。
委員	確かにくずし字は日本語とは思えず別の世界の字に感じることもあります。でも筆で練習すると、文字のくずされ方がわかるので少し身近に感じられます。
委員	古文書を扱うのはチャレンジングではありますが良い試みだと思います。課題もしっかり出ているので、今度はそれをどのように克服していくかが問題となってくるでしょう。
委員	古文書がテーマで参加者が15人もいたというのが不思議だったのですが、家族の勧めで来た子が何人もいたと聞いて納得しました。今の子どもたちはとにかく忙しく、それが勉強にも影響してしまっています。漢字も形が書ければ書き順はいつでもよくなっています。そういう子たちを見ると、楽しくじっくり字を学んでもらいたいと思う反面、負担をかけるのがかわいそうな気もしてきてしまいます。子ども歴史教室でこのようなテーマを扱うのは子どもたちの興味の問題もあって難しいかもしれませんが、くじけずに続けて欲しいです。
委員	古文書は触れないと忘れてしまうので、「古文書アンバサダー」などを設定して、学習を継続できる機会などが作れたらより良いかもしれません。
委員	今のところ、子どもだけを預かる形式で開催することが多いようですが、親子で楽しめるというスタンスでも良いと思います。 また、小学生も中学生もとても忙しいので、丸一日かけて行うのではなく半日でプログラムを組んでみてはいかがでしょうか。毛呂山町歴史民俗資料館でも短い時間で手軽に参加できるプログラムに人が集まりやすいです。
議長	ほかに何かある方はいらっしゃいますか。
委員	博物館実習についてお聞きしたいのですが、実習生の中に飯能市の学生はどのくらいいるのですか。
館長	受け入れ条件を原則飯能市在住・在学としています。申込締切日時時点で定員に達していない場合は他市の学生も対象にしています。
委員	博物館実習にはどのような人が来るのですか。
主事	今年は日本史系の学部学科の学生が2人いましたが、いつもはもっと少な

議長	<p>いです。歴史と関係ない分野の人が来ることも多いです。</p> <p>学芸員資格について、大学の先生方はいかがお考えでしょうか。</p>
委員	<p>私は、自分の専門と無関係の館へは行かないよう生徒に指導していますが、博物館学芸員資格に関する文部科学省の規定ではそのような制約はありません。専門に沿ったところへ行くことを規定に明記するように主張してはいますが、通りません。また、大学側を見ても、専門に沿った館へ行くよう定めている学校は少なく、そのしわ寄せが受け入れ先の博物館に行っているといえます。</p>
委員	<p>昔と比べると、現在は博物館が実習のカリキュラムをしっかり作っているように思います。かつて私が実習に行ったときは、その館の展示の手伝いをさせられただけでした。今は全然違って、受け入れる側が大変になっている気がします。</p>
委員	<p>受け持った生徒には、受け入れ先の博物館が実習生のために労力を割いてくれているのだ、ということは言っています。</p>
議長	<p>単に資格として取りたい学生と、本気で学芸員になりたい学生の間にも温度差はあるのでしょうか。</p> <p>ほかには何かありますか。では、社会科研究展についてご意見をいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>確認ですが、社会科研究展というのは博物館が独自に行っているものですか。博物館で賞を取った作品が県や国まで行くことはありませんか。</p>
館長	<p>はい、飯能市で独自に開催しているものです。県や国に出品するということはありません。</p>
委員	<p>賞自体が出来栄の結果ということなら、該当無しもやむを得ないと考えています。いたずらに教育長賞を出してしまったら、過去に出展した人に対して説明が付きません。過去の出展者から「これでいいの?」と思われる可能性もあります。もし市内で選ばれたものを県や国に出す必要があるというのなら全ての賞を選ぶ必要がありますが、そうでないなら数は少なくとも構わないと思います。</p> <p>理科展は次があるので数を選んでいますが、無理矢理賞を出すこともありますし、地区の展示までに作品を修正することもあります。</p> <p>社会科展に関しては全体の出品数が少なくなっているために、質が落ちていくところもあるとは思いますが。しかし、小学生が減っているにも関わらず</p>

委員	<p>募集を行う作品展の数はとても多く、夏休みだけで12あります。小規模校だと、児童1人が1つの作品展に応募したとしても全ての賞には足りません。以上の状況をふまえて、告知のしかたなども工夫されると良いのではないかと思います。</p> <p>先ほどの報告の中で、賞の選考基準が厳しすぎるという声があがっているとありましたが、私自身はそのような声を聞いたことが無いため、どこから出てきたものなのかなという気になります。</p> <p>私も最初に社会科研究展をはじめた一人なので、ご参考までに経緯をお話しします。社会科研究展は学校側の希望ではじめたものなのですが、最初は作品も全然集まりませんでした。ある年から郷土館が関わるようになり、出品数が次第に増えてきました。郷土館が入ったことで、作品の質も上がったと考えています。</p> <p>この質という部分について、私は重視したいです。数よりも質を維持したいと考えています。広く賞を与えることで多くの子どもたちに興味を持ってもらえるということもありますが、個人的には社会を好きな子がより高みをめざせる今の形式の方が良いのではないかと思います。</p> <p>もしも学校の先生の中でさきほどのような意見が出ているとするのならば、各学校内での先生への伝わり方が十分では無いと言えるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど、社会科研究会と共催で行っていると伺いましたが、作品の審査も先生とやっているのでしょうか。それとも博物館学芸員だけでしょうか。</p>
館長	<p>当館の学芸員だけでやっています。</p>
委員	<p>そうすると、賞に先生の意見は反映されないということでしょうか。</p>
委員	<p>過去の経緯からすると、先生方の間では賞を付与すること自体の是非が分かかれ、議論になったことがあります。また、先生方も大変忙しいので、作品審査は不可能に近いです。博物館の学芸員も、夜遅くまで残って作品を選んだり講評を書いたりしています。</p>
委員	<p>両先生のおっしゃることもわかりますが、幅広く賞を、という先生がいるのもわかります。学芸員賞の下に賞を設定しても良いのではないのでしょうか。</p>
館長	<p>現在、学芸員賞の下に努力賞というものを設定しています。</p>
委員	<p>講評にはどのようなことを書かれているのですか。</p>

館長	良かった点やどこが評価されたのか、逆にどこをもっと頑張れば良かったのかなどを書いています。
委員	それを楽しみにしている親子もいるので、ぜひ継続してほしいです。
委員	選考基準は周知されているのですか。
主事	社会科主任の先生には配布していますが、子どもや保護者のもとへは配布していません。
委員	選考基準は、子どもと保護者まで周知してほしいです。社会科研究展は、最終的には親と親との闘いになってくるので、基準を示すことは必要です。あとは、ユニークな名前をつけた賞を新たに設定してみてもいいかでしょうか。ほかには来場者の投票による賞を設定することなども方法の一つかと思えます。
委員	理科展との対比はよく聞きます。置き型にするよりも模造紙に書いた方が賞を取れるのでは、などというのもよく言われました。このように色々な憶測が飛び交うこともあります。 それと、研究発表会は受賞者のプレゼンを見ることで次に出展するときの参考にもなりますので、もっと多くの方に見ていただきたいです。集客を工夫する必要があると思います。
委員	この展示の作品は、学校の夏休みの宿題の1つである社会科の自由研究の成果を出してくるものですね。そこと博物館との関りの部分に違和感を覚えました。募集は学校で行い、審査の時に突然博物館の研究者の視点が入る、というのにずれを感じます。 募集段階から研究の視点や方法などを教えたり、研究のヒントをアドバイスしたりするなど、最初の段階から博物館としてどのように関わるのか、また出展して終わりではなく、その後も博物館にどのように繋ぎ留めていくのかを考えていくことが必要なのではないかと思います。
議長	今出された様々な意見も参考にしながら、館の皆さんには来年に向けて頑張っていたきたいと思えます。 他に何か質疑等はございますか。 (なしの声あり)
議長	なしと認めます。それでは(2) 令和2年度事業計画と今後の予定について、に進みたいと思えます。では事務局からお願いします。

館長	<p>(2) 令和2年度主要な事業計画(案)について それでは議題「(2) 令和2年度主要な事業計画(案)について」説明いたします。</p> <p>(資料2に基いて説明)</p> <p>なお、ヒロシマ・ナガサキ原爆展は、広島市・長崎市・本市主催で開催いたします。</p> <p>また、当館に関係の無い人が駐車場に止めてしまい、来館者の駐車に支障をきたすという状況が年々ひどくなっています。これまでは職員が交代で見張りに立っていましたが、賄いきれなくなってきたため来年度はシルバー人材センターに委託したいと考えています。</p>
議長	<p>来年度の事業計画案について、何かある方はいますか。</p>
委員	<p>こちらの館の防火管理責任者はどなたですか。</p>
館長	<p>引間主査です。</p>
委員	<p>専任の学芸員は、全員どこかで一度防火管理研修を受けておいた方が良いでしょう。火災、水害対策は今後必要になってくるでしょう。燻蒸についても、防火について業者に口酸っぱくいう必要があります。表に出ていないだけで、実際にはかなりの事故例が報告されています。</p> <p>それと、そろそろIPMの移行、対応策を考え始めた方が良いでしょう。密閉して乾燥材を入れておけば、ムシやカビは死滅します。</p>
委員	<p>この館は避難所指定されていますか。</p>
館長	<p>指定はされておられません。</p>
委員	<p>もしも災害時に人が来てしまったら、断るのでしょうか。</p>
館長	<p>そのように言われてはいますが、実際に断るのは難しいです。</p>
委員	<p>現在予算要求中のことですが、博物館の予算状況はいかでしょうか。毎年何%減らすように、などは提示されるのでしょうか。</p>
館長	<p>総合振興計画の枠から大きく乖離することはありませんので、ある程度の枠は取れていると言えます。</p>
委員	<p>では大枠は維持できているのでしょうか。</p>

館長	そのように考えていただいて構いません。
委員	予算要求について、協議会の議事録を提出することはあるのでしょうか。協議会の議事録は開示しているのですか。
館長	議事録は公開しています。委員のみなさんからの意見については、予算ヒアリングや教育長、部長への説明などの際に伝えていきます。
委員	議事録の承認はどなたがしているのでしょうか。
館長	会長に見ていただいています。
会長	毎回会議の流れと結果をチェックしています。
委員	行政改革委員の活動の中で色々な課の提出資料を見る機会がありますが、博物館は控えめだと感じています。もっと成果を底上げしているような課もあります。博物館ももっとPRしても良いのではないのでしょうか。 それとヒロシマ・ナガサキ原爆展についてですが、広島女学院という学校がAI（VR）を作成しています。このような物も展示に活用出来たら良いのではないのでしょうか。
館長	展示については基本的なパッケージを広島市が作っているため、そこにコンテンツを追加できるかはわかりません。ただ、新しい情報もどんどん出てきているので当館でも情報収集に努めたいと考えています。
委員	原爆展とオリンピック・パラリンピックにはどのような関係があるのですか。資料2の説明を読んでも関連性が今一つわからないのですが。
委員	原爆展自体は毎年開催する県を変えて同一県内の3つの自治体で行っているものなのですが、来年度はオリンピック・パラリンピックが開催されるため東京で開催され、さらに特別に英訳パネルがつきます。
委員	3つの自治体というと、飯能市以外にも埼玉県内で開催する市町村があるということですか。
館長	今回本市での開催が決まったのは偶然でして、本来なら東京都の3つの自治体で行う筈だったのですが、そのうちの1つが辞退したため当館に声がかかったのです。
委員	開催するそれぞれの自治体で協力して広報活動はできるのでしょうか。

館長	本市以外の2つのうち、千代田区からは承諾を得ています。
議長	他に何か質疑等がございますか。 (なしの声あり)
議長	なしと認めます。それでは(3)その他に進みたいと思います。では事務局からお願いします。
館長	(3) その他 事務局からは特にありません。
議長	委員の皆さまの中で質問などある方はいらっしゃいますか。 (なしの声あり)
議長	なしと認めます。以上で、本日予定した議事につきましては、全て終了いたしました。進行を事務局へお返しいたします。
主査	4 その他 事務局からは特にありませんが、何かある方はいらっしゃいますか。 (なしの声あり)
主査	特に無いようですので「4 その他」は以上といたします。
主査	5 閉会 以上で、令和元年度第2回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。
	午前12時00分 閉会
<p>議事のでん末、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p>	